

## やりがいは「子どもの笑顔」、モットーは「子ども以上に私が笑う」

### Q 活動のきっかけは？

子どもが生まれてパパになり、「隣のパパはどんな子育てをしているのだろう」と思ったのが、「パパラフネットくるめ」結成の出発点でした。子育てについての情報を得る機会が少ないパパたちのために、子育ての悩みを相談できる場にしたと考えました。

### Q 活動の内容は？

子育て交流プラザくるんで、毎月第4日曜日に座談会を開いています。6月には岩田屋屋上SORA-IRO広場で父の日にちなんだイベントを開催しました。パパラフの「ラフ」は笑顔と気軽をかけていて、パパ同士がニックネームで呼び合えるラフな関係をつくっています。

### Q 一步踏み出して感じたやりがい

パパ友がたくさんできたことですね。歳がひとまわり離れたパパとも共通の話題があることが新鮮で嬉しかったです。子どもとの時間を確保するために仕事の効率をあげるスキルが身につきました。子育てをするとタイムマネジメント能力もアップするみたいです。「パパはラフでいいと思う!!」そんな思いで活動しています。ぜひお子さんと一緒に遊びに来てください。

◀「パパラフネットくるめ」代表の馬場義之さん

市民活動をしている皆さんに聞いてみました

# はじめの一歩



掲載団体へのお問い合わせは、市民活動サポートセンターみんくるまで。  
TEL : 0942-30-9067 FAX : 0942-30-9068

## 新しい場所で思い切って始めたボランティア活動

### Q 活動のきっかけは？

今年4月に、熊本県から引っ越してきました。知人も少なく、ボランティア活動を通じて友だちをつくりたいと考え、久留米市役所協働推進課で紹介してもらったのが六ツ門図書館の「おはなし会」でした。

### Q 活動の内容は？

毎週土曜日の午後、30分程度子どもたちに読み聞かせをしています。私は、読み聞かせの合間にある「おもしろコーナー」の担当で、手作りの小道具を使って手品や手あそび、クイズをしています。

### Q 一步踏み出して感じたやりがい

一緒に活動している皆さんのストーリーテリング(語り)や、絵本・紙芝居がとてもすばらしくて、子どもたちと一緒に楽しんでいます。子どもたちの笑顔にやりがいを感じる活動なので、私ももっと喜んでもらえるような語り手になれるよう、がんばります。

六ツ門図書館で読み聞かせ活動をしている山崎裕子さん▶



ボランティア情報  
ネットワークのお知らせ

久留米市のホームページ内「ボランティア情報ネットワーク」では、ボランティア団体・NPOの情報、ボランティア募集やイベント情報を掲載しています。久留米市を中心にどんなグループが活動しているか知ることができます。

久留米市 ボランティア で検索

## 楽しみながらやる! すると笑顔がみんなに伝わっていく

### Q 活動のきっかけは？

高校生のころ東日本大震災が起こり、当時は満足いくボランティア活動ができず、心残りに思っていました。その後、福岡県のボランティア講座に参加して実際に現場へ赴くことができ、それを機に大学で災害ボランティアネットワーク「ゆめくる」を立ち上げました。

### Q 活動の内容は？

九州北部豪雨で被災した星野村で月1回、田畑の石拾いや植林活動などを行っています。活動を始めて2年になりますが、復興はまだまだこれからです。今後も継続して活動したいと考えています。

### Q 一步踏み出して感じたやりがい

星野村にはボランティア活動だけでなく観光でも行きます。いつか私たちが花芽を摘んだシャクナゲが、きれいに咲いているところを見られたら嬉しいです。「ゆめくる」は7人から始まり、現在は30人の会員がいます。さらに仲間を増やすために、ボランティア活動の楽しさと星野村の魅力をたくさんの人に知らせたいと思っています。

久留米大学災害ボランティアネットワーク「ゆめくる」  
共同代表の  
田中沙椰さん(左)と  
坂本薫さん(右)



## 「あいさつ」で人と人が繋がる住みよいまちへ

### Q 活動のきっかけは？

PTA、自治会や青少年育成協議会など校区の各団体との集まりの中で、防犯や子どもたちの育成にとって大切なことは何だろうという話題ができました。そのとき、コミュニケーションの基本である「あいさつ」に立ち返ろうとの思いが湧き起こり、活動につながりました。

### Q 活動の内容は？

金丸小学校の通学路を中心に、ごみステーションなどで日常的に「あいさつ運動」を推進しています。校区内のあらゆる場所を活動の場として、朝夕かわららず積極的に声かけをしています。

### Q 一步踏み出して感じたやりがい

あいさつをするのは簡単そうですが、実はとても勇気がいること…。「こんにちは」と言葉にできなくても、会釈で気持ちが伝わるときもあります。今はまだ始めたばかり。このまちが変わったと感じたときにやりがいも感じるのでしょうか。この活動を継続して、自分が暮らすまちを大切に思う賛同者を増やすことが今後の課題です。

◀「金丸校区まちづくり振興会」会長の彌永九州男さん。

キラリ輝く  
市民活動  
活性化事業



キラリ輝く  
市民活動活性化補助金

地域コミュニティ組織やボランティア団体・NPO、学生団体の皆さんが取り組む公益的な活動で、地域でできる「思いやり活動」「安全安心活動」「持続的な賑わいづくり活動」といった市が定めるテーマに合う事業を応援しています。交付対象や募集時期など、詳しくはお問い合わせください。

久留米市 キラリ で検索